



兵庫県立 南但馬自然学校

指導課だより NO, 11

平成25年11月21日

もっと、個人選択活動を取り入れてみては！

私が、平成8年から10年に県立母と子の島（現いえしま自然体験センター）で、自然学校専門指導員をしていた頃、児童の興味・関心を重視し、児童が取り組みたい活動を導入していくためにも、「これからの自然学校で、“児童の参画”や“選択型のプログラムの設定”が求められている」と、言われていました。そこで、下見対応やプログラム相談時には、個人選択活動を取り入れるように助言してきました。母と子の島は、海洋性のキャンプ場で自然学校の準拠点施設でもありました。

私が学校現場に戻って、すぐの自然学校では元職員ということもあり、「いかだづくり」「釣り・魚拓づくり」「カヌー・カヤック」「貝殻ペンダント」「八角堂ハイキング」「塩づくり」「タイドプールづくり」「ストーンペインティング」「磯めぐり」の個人選択活動を実施しました。先生やリーダー等の指導者の人数から、2つの活動を掛け持ちで指導しなければならなかったという課題はありましたが、子どもたちは自分がやってみたいという活動であったので、朝から夕方まで、時間の過ぎていくのを忘れてしまうほど、夢中になって取り組んでいました。自然学校の期間が、5泊6日から4泊5日以上と変わったことが原因なのか、最近の南但馬自然学校では、あまり個人選択活動が取り入れられていません。

	活動形態	活動数	割合(%)	割合(%)
一斉	A: 全員で同じ活動を行う	288	40.4	98.5
	B: 同じ活動を班単位で行う	256	36.0	
	C: 同じ活動を個々に行う	157	22.1	
選択	D: 学級単位で選択して活動する	0	0.0	1.5
	E: 班単位で選択して活動する	0	0.0	
	F: 個人単位で選択して活動する	11	1.5	
	活動総数	712	100.0	100.0

	A	B	C	D	E	F
平成20年度	39.6	36.4	19.2	0.0	1.0	3.8
平成21年度	52.9	30.8	11.8	0.0	1.4	3.1
平成22年度	50.8	29.1	15.9	0.9	0.4	2.8
平成23年度	46.8	31.0	20.7	0.0	0.0	1.5
平成24年度	40.4	36.0	22.1	0.0	0.0	1.5

左表は、平成24年度の活動形態を示していますが、個人選択活動のFは、全体の1.5%です。一斉活動となるAは、40.4%も占めています。一方、右表は、年度別の活動形態の変容を示しています。この表からも分かるように、年々、個人選択活動を示すFの割合が少なくなってきています。

この原因について、考察をしていかなければならないのですが、積極的に個人選択活動を取り入れている明石市立清水小学校の様子を紹介します。

	H22	H23	H24	H25
	10月11日～	6月27日～	5月14日～	11月11日～
竹田城跡ハイキング	49	7	20	18
サイクリング	30	45	24	30
隠れ家づくり	27	32	24	33
クラフト・こけ玉づくり	30			
ひのきホルダー		35	40	
自然観察		6	22	
林業体験・自然物クラフト				19
スイーツデコ				22
合計児童数	136	125	130	122



左表は、清水小学校の選択プログラムの年度別活動内容を示しています。

今年度は、自然学校では周りの状況を見て判断できるようにさせるためにも、学年目標を、「仲間を大切にし、自分で考えてやり遂げる～勝気で楽しもう～」に設定していました。そして、この目標に基づいて、4日目の選択プログラムで、「竹田城跡ハイキング」「サイクリング」「隠れ家づくり」「林業体験・自然物クラフト」「スイーツ・デコ」の5つの活動を取り入れられました。



ヒメハナ公園へのサイクリング、竹田城跡登山など、子どもたちが5カ所に分散するので、担任外の教員など引率教員を10名に増やすなど、安全面についても十分配慮されています。実施時期にかかわらず同じ活動を取り入れて個人選択活動としている学校がありますが、清水小学校は、実施時期や先生の思いを反映した活動となっています。昨年度の自然観察では、山菜を採り天ぷらにして食べました。子どもたちにアンケートを取り、希望の多い活動を個人選択活動に取り入れるのも一つの方法だと思います。今は、事前学習としてホームページ等で調べ学習をしている学校があります。他校の活動の様子を見て、また毎年度利用している学校については、兄姉や6年生から聞いて、自分が一番取り組んでみたいと思う活動を選ぶこともできると思います。

その活動に係る指導者や経費のばらつき、子どもたちへの安全管理等、問題があるかと思いますが、子どもたちの自主性を育み主体的にその活動に取り組ませるためにも、ぜひ、「個人選択活動」を取り入れてみてください。

第2回親子で自然学校参加者募集！



8月24日(土)・25日(日)に、第1回親子で自然学校を実施したところ、8組25名の参加がありました。昨年度までの本事業参加者の「夏にも実施して欲しい」という要望をかなえる形で、今年度初めて実施しました。2学期利用校の家族での下見という位置づけで、たくさんの5年生が参加してくれました。



例年は、自然学校を終えた冬季期間に、「自然とふれあう活動を通じて、自然の美しさ、すばらしさを実感し、様々な活動の中で親子のふれあいをより深める」という目的で実施していました。

4年前に、本校利用校の先生が、家族で参加してくださいました。その先生は、翌年その学校の担当として自然学校に関わっておられました。今思うと、前年度から5年生担任ということ意識して、泊付きの下見に来られていたのもしれません。冬場と言え、寝食を経験した先生は、その経験から自信を持って、子どもたちに的確な指示を出しておられました。

第2回は、12月21日(土)・22日(日)で、餅つき会、自然物クラフト(ミニツリーづくり等)、クリスマスケーキづくり、焼き板づくり等、楽しい活動がいっぱいあります。小学生の子どもをお持ちの先生、ぜひ、参加してください。

詳しくは、南但馬自然学校のホームページをご覧ください。

編集後記

個人選択活動の導入は、子どもたちにメリットはありますが、教師側の負担が多くなるかもしれません。しかし、それ以上に、子どもたちの生き生きとした姿が見受けられます。今回は、そんなことを意識して、「指導課だより」を作成しました。(文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也)